

清家あい新区長に  
要望しました

9月26日に会派として清家区長に予算要望を提出しました！

令和7年度予算は、清家区長としての初めての予算です。選挙公約を実現するための道筋を示す重要な予算になります。

清家区長には、先日まで同じ議員という立場であったからこそ、一人一人の議員が議会で取り上げてきた課題に目を向けていただき、課題解決に取り組んでいただくことを期待しています。

予算要望の全文は、みなど未来会議HPより閲覧できますので、ぜひ見ていただき、ご意見やご要望がありましたら所属議員までご連絡ください。

詳しくはこちら



一部  
ピックアップ

- ✓ 教材費などの学用品の無償化
- ✓ 防犯ブザーを見直し、ICTを活用した子ども見守りシステムの導入を
- ✓ 学童保育の活動場所の確保を
- ✓ 通学路上の建築工事情報を学校と共有し事故防止を
- ✓ 留学支援の創設を
- ✓ 歴史的価値があるものを守る仕組みづくりを
- ✓ 身近に運動できる施設の充実を
- ✓ 財源確保の強化を（基金運用、目的税の導入など）
- ✓ 区民や議会からの意見反映の機会の確保を
- ✓ 首都直下地震に万全の備えをする計画（震災復興基金）の精査を
- ✓ ペット防災の取組みの拡充を

- ✓ 指定管理者選考において給与体系を選考基準の一つに加え、最低賃金水準ではない手厚い賃金体系に改めるべき
- ✓ 地域商店の活性化に繋がるふるさと納税の返礼品事業の早期開始を
- ✓ 東京湾大華火大会の復活を
- ✓ 介護や子育てのダブルケアなど「中年世代」へのサポートを
- ✓ 介護施設に利用者がもっと快適に過ごせる最新機器の導入を
- ✓ 高齢者の住宅確保の支援を
- ✓ みなと区民の森の利活用の推進を



子育て環境向上  
に向けた  
提案

1 子どもと一緒に  
議会を傍聴できるよう見直しを！

赤ちゃん・子ども連れが傍聴できない港区議会の規則を変えたい！

榎本あゆみ幹事長の提案のもと、みなど未来会議として、現在の「児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。」という規則の見直しを求めました。

しかし他会派から、親の監督責任が生じるとの意見を受け現状維持となってしまいました。

「子育てるなら港区」を謳う港区であるからこそ、子どもを連れて傍聴できる議会であってほしいと私たちは考えます。

引き続き子どもがいても全ての区民が等しく傍聴できる権利を会派として求めていきます。



2 一時預かり・病児保育サービスが拡充！  
港区初の屋内遊び場も！

来年1月に麻布十番に病児保育室、7月に高輪に一時預かり所と屋内遊び場が新設されることになりました。病児保育は感染症の流行期には満室になっていることも多く、一時預かりはいつも予約が困難な状況だという声を多くいただきます。引き続き区民のニーズを調査しつつ、サービスの拡充を求めてまいります。

また、一時預かり利用支援サービスの申請がオンライン申請可能となりました！一時預かりの申請登録に関しては

施設ごとに実際に足を運んでの登録が必要など、他にも利用するまでの登録の煩雑さが残っています。面談のオンライン化など、会派として求めてまいります。



第2回 定例会 議会での質問と提案 第3回 定例会



榎本  
あゆみ



- 効率的な区政・財政運営について
  - ・今後の人口増加へ対応すべき
  - ・外部人材の登用を積極的にすべき
  - ・特別区民税
- 2100年を生きる子どもたちの保育・教育について
  - ・小学校で副担任制度とすべき
  - ・学用品の無償化をすべき
  - ・学童保育の質向上と抜本改革をすべき
  - ・全ての子どもへ留学支援をすべき
  - ・共働き家庭を前提とした学校運営をすべき
  - ・0歳児のおむつを無償化すべき
- 暮らしやすい街づくりについて
  - ・再開発中に区民が不便が生じないようにすべき
  - ・運河を誰もが利用できるようにすべき
  - ・ITを活用した防災の仕組みを構築すべき



さいき  
陽平



- 子育て支援について
  - ・一時預かりの利用登録などの煩雑さの改善やオンライン化を
  - ・感染流行時にも対応できる病児保育の大幅な拡充を
  - ・夕食の提供なども含めた学童の預かり時間の延長と質の更なる向上を
  - ・保育園にも英語のネイティブ・ティーチャーの派遣を
- 防災について
  - ・港区で約53万人とも想定される帰宅困難者対策について
  - ・災害に速やかに取り組めるよう災害対応職員の住宅確保を
  - ・ペット同室避難の整備促進について
- テクノロジーを活用した福祉政策について
  - ・介護施設に利用者がもっと快適に過ごせる最新機器の導入を
  - ・NPOと連携した孤独・自殺対策の「24時間対応の相談窓口」を設置を



玉木  
まこと



- 区民参画の取組みの充実を
  - ・区長も参加していたタウンフォーラムなど区民参画組織の発展を
- 歴史的価値があるものを守る仕組みづくりとは
  - ・守るべき対象や仕組みが曖昧で、事業者に住民説明を求めるだけでは仕組みとは言えない。具体的な考えは
- 樹木保全や緑地を増やす取組について
  - ・緑の倍増のためには特別緑地保全地区制度なども検討すべき
- 介護する家族への直接的な支援を
  - ・40～50代は介護・子育て・仕事が集中するため直接的な支援を
- 文化芸術施策の充実を
  - ・公共施設にアートを設置する1% for Artを実施すべき
- 不登校の受け皿となる民間の居場所事業について
  - ・不登校の居場所事業をする民間団体へ公的な支援を



なかまえ  
由紀



- 区民の声を聴く仕組みの充実を
  - ・当事者が気軽に声をあげられて、構想段階から幅広に意見を聴く体制を整え、ボトムアップで政策構築を
- 公益通報について
  - ・港区における通報者の保護と客観性の確保、制度の運用状況を問う
- ミッドライフ・クライシス（中年の危機）について
  - ・第二の思春期とも言われ、約8割の人が悩みや葛藤、不安を抱くとされる中年の危機について、啓発と取り組みを
- 防災について
  - ・住所や世帯構成を入力すれば、ハザードマップと照合しつつ自分専用の避難モデルが確認できるようになるなど、個々に応じた避難行動を周知し、区民の安心とスムーズな避難につなげるべき
  - ・豪雨による区内の冠水は喫緊の課題。落ち葉を清掃し雨水マスや側溝に詰まらないようするなど、すぐに対応できる排水機能の向上策について日頃から啓発を

# わたしたちの 提案 *suggestion*

日本の未来を  
真剣に国民民主党  
副議長**七戸じゅん**

副議長として第三回定例会、補正予算取、また新区長に対しての初めての決算委員会などの取りまとめに力を注ぎました！  
先進自治体として新たな事業を提案し新区長へ予算要望も提出し、また全国公立初の海外修学旅行などの検証の場所作りなどに尽力しました！

守ります！  
命と権利国民民主党  
建設副委員長**石渡ゆきこ****高齢者のゴミ出しサポートのさらなる拡充を**

認知症など様々な要因で、大量の動産を溜め込んでしまっている高齢者向けに、動産（ゴミ）処分の支援体制を整備すべき。

**公立校のトイレ改修問題**

公立校の一部の男子トイレが、古いだけでなく、プライバシーも守られてない構造・配置になっている。早急に整備を。

**被災者台帳の整備を**

災害への備えとして、適切な支援体制作りに役立つ、被災者台帳の作成や活用法を調査し取り組むべき。

無所属  
議会運営副委員長**玉木まこと**街づくり  
文化芸術**8月21日の大雨被害について**

区が無償提供する土のう置き場の活用状況と増設を質問し、増設の方針が示されました。加えて、地下鉄の完全防水型出入口整備の推進や民間建築物への止水板設置費助成の創設を要望しました。

**スクールカウンセラー（SC）等の充実と待遇改善を**

小中学校のSC等を常勤配置へと拡充し、業務委託の派遣ではなく任期の定めのない職員にすべきと要望しましたが、教育委員会からは現状維持との答弁でした。引き続き、相談体制の拡充と専門職が安心して働く環境の実現を訴えます。

**身近に運動できる施設の充実について**

江東区に6ヶ所の小規模スポーツセンターがあることに触れ、港区でも身近な運動施設の整備を求めました。

シングルマザー・  
保育士現場経験者都民ファーストの会  
区民文教委員長**琴尾みさと****ICTを活用した子ども見守りシステムの導入**

以前よりキッズ携帯等を使った防犯システムの導入を提案。登下校の安全対策として防犯ブザーからICTを活用した防犯見守りシステムへと見直されます。

**元麻布保育園の調査と改善**

FRIDAYデジタルで報じられた問題について、区は記事の内容は事実ではないと否定。一連の問題も法人固有の問題とされているが、事実確認不足と本件の根本原因について指摘し、同じことを繰り返さないよう第三者を入れた調査、運営の方向性、協定書等の見直しと改善を要望しました。

**公園の芝生を改善**

公園の利用頻度が高いことや日照などが原因で生えづらく放置されている芝生を見直し、改善するべき。

みなと未来会議の活動の詳細はFacebookページをご覧ください！▼

発行：みなと未来会議（港区芝公園1-5-25）

TEL : 03-3578-2948 FAX 03-3578-2854

Email info@minato-mirai.net



12/11(水) 19:00-21:00  
2024

詳細や  
お申込みはこちら一緒に  
解決策を  
考えます！**なかまえ由紀**無所属  
前副議長**副委員長として決算委員会の運営をサポートしました。**

新区長となって初の決算委員会となり、区長を追及する立場、応援する立場、それぞれの立場から各会派が持ち時間いっぱい質問し、活発で緊張感のある委員会となるなか、スムーズな委員会運営に努めました。

決算委員会では、昨年度の歳入約1800億円、各種事業に費やした歳出約1680億円について、さまざまな視点からチェックしました。  
これからも公平で透明性の高い区政を追求します。

1・6歳の  
子育ての  
当事者**榎本あゆみ**国民民主党  
会派幹事長**ファミリーが対象のイベントはweb申込みとすべき**

忙しいファミリーを対象としたイベントが、電話申し込みしか受け付けていなかった。web申込みにすべき。

**自転車に警告札をつけるために約4億円の支出は見直すべき**

放置自転車対策として過去10年間で最も多い港区の人口とほぼ同数の24万を超える警告札を貼った。99%が持ち主の元に戻る警告札を貼ることに約4億円かけるなら、駅前やスーパー、病院など小規模の駐輪場を街中に多く整備することに費用をかけるべき。

**防災用品カタログギフトを配布すべき**

マンション住民が9割以上で在宅避難が前提であることから、各自宅のスペースに合わせた防災用品を選択できるカタログを配布し自助を支援すべき。

区民目線で  
全力投球**さいき陽平**無所属  
こどもまんなか  
少子化等対策委員長**認可外保育園等の保育園費用助成の****所得制限撤廃を**

保育料の助成に関して、現行制度に所得制限の条件について見直すよう求め、さっそく来年度から見直されることになりました。

**区民の命を守り抜くため震災復興基金の効果的な立案を**

約1000億円の震災復興基金を精査し、区民の命をリアルに守り抜けるものとなるよう提案しました。「検討を進めていく」と前向きな答弁を引き出しました。

**同性パートナーの住民票の対応を当事者に寄り添うよう改善を**

同性カップルの住民票の手続きは「同居人」と記載され、疎外感を覚える表現だという当事者の声があります。他自治体では表現の工夫が進んでいることから港区でも検討を提案しました。区は他自治体への意見交換や国への要望を行うことで取り組むと答弁しました。

